

ひしのみ

【学校目標】

たくましく かしこく とともに生きる

1学期をふりかえって

早いもので令和元年度の1学期もあと二日を残すだけとなりました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。ここでしっかり1学期を振り返り、今後につなげていきたいと思っております。

千代田中部小学校の子どもたちは、素直で一生懸命な子どもばかりです。4月からは交通事故などの大きな事故がありません。1学期の欠席者数は、一日で平均すると2.4人(忌引き、事故欠も含む)とよくがんばって登校しています。これも、お家の方々の協力があるからこそです。健康に気をつけた生活をしていただいていることによるものです。行き渋った子もいたようですが、お家の方が説得し、連れてきていただいたおかげで、長期欠席とはならず済んでいます。220人みんなが元気に楽しく登校できていることが一番のうれしいことです。

いじめについては、友達への言葉遣いなどが原因によるいざござはありますが、いじめとして認知したものは1件です。これは、「〇〇菌」と言ってタッチ鬼をしたというものです。関わった児童にはしっかり指導すると共に、全員の保護者にも連絡し、家庭でも指導していただいております。その子を傷つけてしまったことに対し、学校としてしっかり反省し、未然防止、早期発見対応に今後も取り組んでいきます。

学習については、教室を回っていて、どのクラスも子どもたちは一生懸命学習に取り組んでいます。この一生懸命さを学力につなげていきたいと思い、担任とともに学習方法を検討しているところです。まずは一番子どもたちが苦手としている表現力育成に努めていきたいと考え、「校長先生からの宿題」を出し始めました。文章を書き慣れることが大切ですので、2学期も継続していきます。

「ほめほめ活動」は、2回ほめられた子、4回ほめられた子と差はありますが、220人全員を2回ずつほめることができました。ほめることで子どもたちはやる気を出してくれています。「当たり前は素晴らしいこと」です。当たり前のことを当たり前にすることが難しいのです。2学期もしっかりほめて、220人一人一人をしっかり認めていきます。

通知表の見方

7月19日の終業式の日、「あゆみ」を配布します。お子さんの令和元年1学期の学校生活がどうだったのかを見つめ、まずは、ほめてくださいますようお願いいたします。

「あゆみ」の表記の仕方で、今年度から変えているところがあります。「生活のようす」についてです。例年は、○や△がたくさん付いていた子もいたと思います。今年度は、誰かと比較したり、基準を決めたりといった評価ではなく、その子の中で、一番頑張りが見られたところに○、今後更がんばって欲しいところに△を一つずつ付けることとしました。そのため、全てのお子さんに○が一つ、△が一つ付きます。これは“個人内評価”と言い、その子自身にかぎった評価の仕方です。だれにでも得意な部分、苦手な部分があります。それを表しているものです。「あんた△のついとるやんね。」とか「○が一つしかなかやんね。」とかは言わずにあげてください。